

PCOが誇る技術とは？

(公社)東京都ペストコントロール協会 理事 紅谷 一郎

医者の技量は分かりにくい

医者が誇る技術とは、どんなことでしょうか？

手術の腕前？ 緩まない包帯の巻き方？ 親切な処方箋？ 痛くない注射？

患者から見て、どれも魅力的ですが、このような「技術」はいくらでも挙げることができそうです。

では、患者でなく同業の医者から見て、誇れる技術とは？

友人のお医者さん何人かに聞いてみて分かったことがあります。自分の命を任せられるかどうかは、相当なヤブ医者や名医なら同僚の医師や看護師にも分かるが、殆どの医者の技量の差は目に見えにくいということです。

医者のレベルは名医とヤブを除いて命に関わるような差がないと割り切って、身近では最も信頼できる医者にかかるようにしているということです。自分自身が医者であっても、色々な事情で、常に名医にかかれるとは限らない、という現実もあるでしょう。

一般の市民、患者の側からみると、事前には医者や技量は分かりにくい、その医者や患者としてかかってみないと分からない、極端に言えば死んでみないと判らないというのは困りますので、もう少し考えてみましょう。

では一般の市民はどうすれば良いのか？ 医者の友人たちに聞いてみました。すると、医者になってからのキャリアや専門医としての資格標榜、公開している治療実績のデータな

どを見て判断するのがベターだということです。

患者から見れば、医師になるために大学で教育を受け、国家試験に合格し、研修や経験を積んできているはずですから、それほど技量に差が無いはずだと信用して受診するしかありません。

では、医者や技量の本質とは？

「古くから〇〇病に効くと中国に伝わる薬草を煎じて」とか、「〇〇病の権威である△△先生が勧める食品を濃縮して」とか、「神の手と言われる△△医師が執刀して」といった誇り方は信頼できるのでしょうか？

医者や技量を伝統的な手法であるとか、権威者の推薦であるとか、職人芸とか、世間の評判などに求めるのはやめよう、もっと科学的に体系づけよう、という運動が起きました。

常に最新の臨床結果情報を検索・講読し、専門とする学会に参加聴講するなどして、最新最良の根拠(evidence、証拠・根拠)に基づく診断・治療計画を立てて、患者と家族、医療スタッフと情報を共有する必要性が1980年代から米英で提唱され始めましたが、EBM(Evidence-based Medicine、根拠に基づいた医療)として提唱され普及し始めるのは1990年代以降になります。

広大な国土を持つ米国やカナダ、海を隔てた英国など、EBMの実践と普及は、医学関係のデータベース、インターネット抜きには成

し得なかったでしょう。EBMやカルテのIT化によって診断・治療の臨床例が広くリアルタイムに収集され、疫学的・統計的に評価され、ある意味で全米的な医療の品質管理のような仕組みが行われるようになったと考えられます。

日本では伝統的にドイツ医学系だったと聞いていますが、米英系の影響も大きく受けているということです。

PCOの技量も分かりにくい

「プロ用の殺鼠剤を使います」「創業50余年で経験豊富な」「〇〇協会所属」「〇〇名人の△△が駆けつけます」いずれもよく見る文句ですが、技量を評価する材料になるのでしょうか？

個人的にはどれも広告に使えるそうだと思いますが、先の医療の話を参考に考えを進めます。

まず、医療でいう「内科医院」のように会社として標榜する専門品目、保持する認証や資格を表示することで、消費者に専門分野や技量レベルを分かりやすくする必要があります。

専門品目については私見ですが例えば「生活衛生PCO」「飲食店PCO」「建築物衛生PCO」「食品工場PCO」…などの分類が考えられます。

また扱える害虫の種類で表示することもできそうです。

保持する認証や資格ですが、まずは「公的登録」(国、都道府県による認証・登録)の有無。例えば建築物衛生法に基づく業種登録(建築物ねずみ昆虫等防除業)。

次に「業界団体登録」。例えば(公社)東京都ペストコントロール協会、(公社)日本しろあり対策協会、〇〇害虫防除協同組合、など。

また、日本衛生動物学会、日本ペストロジ学会、日本家屋害虫学会などの関係学術団体への加入状況や大会や研究会への参加状況、学会への発表・掲載なども技量を計る参考になると思われます。

他にはペストコントロール技術者1級、防除作業監督者(建築物衛生法)、しろあり防除施工士、ペストコントロール技能師など有資格者の人数も参考になります。

以上まとめますと、第三者が検証可能な登録・資格、学術活動状況など、会社としての技術研鑽の経歴をカタログ、名刺、ホームページなどに表示することが、「わが社が誇るPCOの技術」を都民・顧客にアピールする第一歩ではないかと考えます。